

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

墨田の元気なシニア

地域の活動に取り組んでいる

墨田聖書教会牧師 石川 良男さん

各地でクリスマスツリーが点灯されたというニュースが流れ、まちがクリスマス一色に染まる今日この頃…。

皆さんは、墨田区墨田3丁目にある墨田聖書教会を御存知でしょうか？

こちらの教会の建物は、都内では今や珍しい“かまぼこ型”をしており、昔ながらの佇まいを保っています。

牧師の石川良男さん(56歳)は、アート等を通じて、積極的に地域の活性化に携わっていらつしやいます。今回は、クリスマスを控



えてお忙しい中、石川牧師に次のとおりお話を伺いました。

☆牧師になるまでの経緯は？

墨田3丁目で生まれ育ち、幼いころから墨田聖書教会に通っていました。

世の中には不治の病があり「自分の力ではどうしようもないことがあるんだ」と知ったことがきっかけです。

洗礼を受けたのは中学生の時で、その後、子どもの頃から好きだった「絵を描くこと」を通じて神の教えを広めたいと思い、美術系の大学に進み、アメリカにも渡りました。

帰国後はデザイン関係の仕事に就きましたが、先代の牧師が亡くなられたことをきっかけに、神学校に通い、32歳のときに牧師になりました。



☆地域で行っている活動は？

地元の若手アーティストたちと一緒に、墨田区北部を中心に、「墨東まち見世」や「39アート」といったアートイベントを行っています。

また、玉ノ井地区の「寺島なす」復活プロジェクトにも参加し、イメーজキャラクターである「寺島茄子乃介」のデザインを手掛けました。

さらに、仲間と「自転車部」を立ち上げ、いろいろな自転車を作っています。具体的には、ペダルを漕ぐことでかき氷が作れる「かき氷自転車」、コーヒー豆が挽ける「豆挽き自転車」といった作品をこれまでに製作してきました。これらの作品は、イベントへの貸し出しも行っています。

☆地域で教会が果たす役割は？

イエスキリストの教えを伝道すること。(伝えること) また、地域の祝福を祈ることです。

教会というと、中々近寄りづらい方もいるかもしれませんが、礼拝は誰でも参加することができます。

礼拝のほかには、ゴスペルのコンサートや講演会等のイベントも行っています。さらには、ギターやウクレレの教室を行っており、幼稚園生から60代以上の方まで、様々な方が参加をしています。楽器の貸し出しもできますので、是非お気軽にご参加ください。

☆地域活動に興味を持つシニア世代へのメッセージ

実は教会というのは、「生きがい」に出会う場所でもあります。神も、人それぞれが個性を活かし、それを発揮していくことを望んでいるのです。

シニア世代の方々には、自分自身の情熱を傾けられる何かを見つけてほしいですね。

「中年子育て奮闘記」 その7 鈴谷 明

「出産立会③」

私たちが出産待機の病室に入ってから御一緒にさせていただいたお母さんや御家族は、やがて皆さん、姿を消してしまいました。

分娩室に向かった御夫婦の中には、移動されてから10分か15分でお子さんを出産なさって、赤ちゃんの元気な産声に続いて、

「なんだかあつけないもんだなあ」などとおっしゃるお父さんの声まで聞こえて来る、なんて場合もありました。

やはり、初産か否かでお産の様子にも違いはあるようです。お子さんたちに付き添われていらつしやったお母さん方は既に出産経験もありなので、初産のお母さん方に比べると早く出産なさっていたようです。

とは言え、病室で待つ私たち夫婦は次第に不安になってきました。陣痛はあるものの、いつまで経っても赤ちゃんが顔を出そうとしないのですから。「これは病気じゃないんだから。」「定期検査でも順調だったんだ

から。」とお互いに言い聞かせたりもしましたが不安は払拭できません。ましてや妻は、周りのお母さん方よりも年上でしたのでどうしてもいろいろな心配が頭をよぎります。しかし、心細く、苦しい妻の傍らで、付き添いの私まで「どうしよう、どうしよう」じや妻も一層心もと

なくなるばかりです。私は妻がイラつかない程度に冗談を言ってみたり、妻に出された食事を代わりに私が平らげて呆れられてみたり、動じない様子を見せるのにあれこれ思案して実践していました。

看護師さんにもアドバイスをいただきながら、妻の姿勢を変えたり、廊下をゆっくり歩いたりを繰り返して病院に入っ

ら丸が一日が経過した頃、定期検診で診ていただいた主治医の先生がいらして上手に処置してくださいました。おかげで、それから順調に分娩室へと進むことができましたが、そこは、まさに神秘的な空間だったのです。



手軽にクッキング 63 <12月の主菜>

「鶏ささみのガーリックソテー」

(1人分175kcal)

<材料：2人分>

サラダ油	大さじ1
にんにく	1かけ
鶏ささみ(小)	4枚
塩コショウ	少々
小麦粉	少々
レタス	
ポン酢	



<作り方>

1. ニンニクはスライスする
2. 鶏ささみは筋をとり、中央を3cm横に切り込みを入れ、手綱こんにやくのようにささみの端をもち、くるとねじ入れる
3. 2を塩コショウし、小麦粉を振る
4. フライパンに油をしき、1のニンニクをこんがりいたためて取り出す
5. 4のフライパンに3のささみを入れて炒め、ふたをする
6. 5のささみを裏返して焼き色をつける
7. 皿に盛り、ささみの上にニンニクをのせる
8. 彩りの良い野菜を添える

*風邪をひかないように、年末を乗り切ってください。

(協力：食育支援部)

「あんな本、こんな雑誌 ①」 渡辺信夫

安藤鶴夫を憶えていますか。

演芸評論家・小説家であり亡くなって46年が経つ。安藤を知るようになったのは、永六輔の影響である。学生の頃はラジオの深夜放送が全盛で、土曜日の夜はTBSの「バックインミュージック」をよく聴いていた。パーソナリティが永六輔だ。小さい頃から落語などの演芸が好きだったので、芸や芸人について色々な話題が出てくる永さんのトークに引き込まれて、ついつい睡眠時間を削ることに。そんな中で親交のあった安藤鶴夫のことも話された。四谷の鯛焼き屋のそれを、しつぽにまで餡が入っている感激していたとか。豊竹山城少掾の義太夫が分からないと言ったら、日本人でないと怒られたとか。

そんな安藤に興味をおぼえ、直木賞受賞作『巷談本牧亭』（1969年、角川文庫）を読んだのは1971年だった。当時、上野広小路近くにあった寄

席、本牧亭を舞台に実在した講釈師桃川燕雄が主人公の小説だ。その頃は学生運動が収まりつつあったが、世の中には残り火のような熱気がまだ感じられた。ところが講談、新内、娘義太夫、そんな超然とした世界が本牧亭にはあるように書かれている。上野広小路へ向かい、本牧亭をさがした。

大きな幟が目印のこじんまりとした木造二階建ての寄席だった。はっぱを着てねじり鉢巻きの元気な下足番のおじさんが出迎えてくれる。二階に上がると広い畳敷きの客席にお爺さんが数人。それも皆さん壁に寄りかかって座っている。やがて開演しても目を閉じたままで、寝ているのか聴いているのか分からない。若い学生には身の置き所がなく困惑。これが初めての講談定席です。

安藤は1946年から49年まで雑誌『苦楽』（苦楽社）で聞書き「落語鑑賞」を連載。こ

の雑誌は1946年創刊、表紙を鍋木清方が描いていて執筆者には大仏次郎、長谷川伸、平山蘆江らが並ぶぜいたくな趣味雑誌である。連載をまとめて『落語鑑賞』（1949年、苦楽社）が刊行されている。木村莊八が装丁をしており、実に凝っている本だ。本文表紙が「くらく亭」

の行灯が掲げられた寄席の入口。表見返しが木戸風景、扉が寄席の中、裏見返しが楽屋。そして裏表紙が楽屋出口と、寄席の世界がカラーで美しく広がる。手に取るたびにこんな寄席で落語を聴きたかったと、思わせる本です。

（私設図書館「眺花亭」主人）



介護予防のための

こうくう ケア 講演会

～元氣なお口で毎日楽しくイキイキ生活!～

- 口腔機能は足腰の筋力と同じように、あまり使わないでいると次第に衰えていきます。「よく噛まずに物を食べる」「人との会話が少ない」といった事が続けば、口腔機能の衰えがきっかけで、身体や他の機能の低下につながる危険があります。
- いつまでも食べ物をおいしく味わう、会話を楽しむ、声を出して笑うといった、いきいきとした生活を続けていくために「口腔機能の大切さ」や「正しいお口のお手入れの方法」、「健口美体操」などについて学びましょう。

【日程・会場・内容】

* 1回制の講演会で、各会場とも同じ内容です。お近くの希望会場をお選びください。

	日 程	会 場	内 容
第1会場	1月27日 (水曜日)	家庭センター 【ホール(5階)】 (亀沢3-24-2)	★議題 パンフレット等を活用しながら、口腔機能の維持向上の必要性をお話しします。また、参加者の皆さんに口腔機能をチェックしていただき、その結果に対する口腔機能の維持向上方法をお伝えします。 ★お口の体操 「口の周り」「かむ力」「飲み込む力」などお口の元気を高めるための体操を学びます。「健口美体操」を教材として用います。
第2会場	2月9日 (火曜日)	すみだ中小企業センター 【会議室2・3(5階)】 (文花1-19-1)	
第3会場	2月24日 (水曜日)	曳舟文化センター 【第1会議室(2階)】 (京島1-38-11)	

【時間】 午後2時から4時(受付は午後1時半から)

【費用】 無 料

【対象】 区内在住の65歳以上で初めて受講される方

【定員】 各会場先着30人(事前に申込みが必要)*定員になり次第締め切ります。

【講師・指導】 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 歯科衛生士

【申込み】 墨田区高齢者福祉課地域支援係

12月21日(月) 午前9時から電話で 電話5608-6178へお申し込みください。

編集後記

十二月はノーマルウィークがあります。今年は日本人が二人受賞されました。授賞式の様子をテレビで何回も見ても感激しました。街では、クリスマスツリーが点灯され、なんとなく、華やかだ気分になってきました。また、お正月を迎える準備もあり、忙しい日々が続きます。

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

「シニア人材バンク登録者募集」
ボランティア活動をした方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。
パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から、場の準備作業など、どなたでもお気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。
味等を地域の知識、経験、特技、趣味等をお聞かせください。



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/